

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 肝細胞誘導におけるダイレクトリプログラミング機構の解明とその応用
2. 研究代表者： 鈴木淳史（九州大学生体防御医学研究所 教授）
3. 中間評価結果

本研究課題は、線維芽細胞から肝細胞様細胞（iHep 細胞）への直接的な運命転換（ダイレクトリプログラミング）の制御機構の解明と、ヒトへの応用を目指す研究である。iHep 細胞は肝細胞に変わり、脂肪性肝疾患や脂質代謝異常症などの診断、治療薬の開発に向けた画期的なツールになることが期待される。

2 つの面での取り組みが行われているが、メカニズム研究に関しては当初の提案どおり順調に進展しており、概ね期待通りの成果が見込まれる。ヒト iHep 細胞研究については、国外の他の研究グループからダイレクトリプログラミングの報告が複数なされているため、今後、他のグループとのさらなる差別化した取り組みが必要である。

今後は、ヒト iHep 細胞作製の条件等の確立とともに、機能解析もさらに進め、その成果のヒトへの応用に向け、さらに研究を加速することを期待する。また、特許申請および研究成果の論文化がさらに進むことを期待する。

以 上